

THE TIMES

1 得られるものは
「終わらせ方」で決まる

2 スマホで受験に失敗
する子どもたち

3 スケジュール

4 夏期講習の案内

得られるものは「終わらせ方」で決まる

いよいよ夏休みです！夏休みと言えば、、、宿題、、、宿題は、早く終わらせても締め切りギリギリに終わらせても、提出できれば同じ…多くの生徒がそう考えています。ぼくも学生時代そのように思っていました。そして、夏休み最終日間近。怒涛の追い上げで終わらせました。

当然のごとく無意味、、、

当たり前のことを、書きます。宿題で本当の差がつくのは「いつ終わらせたか」ではなく、「何を目的に取り組んだか」なのです。

締め切りが迫ると、人の意識は必ず変わります。本来の目的である「理解すること」「できるようになること」が後回しになり、とにかく「終わらせること」が最優先になってしまうのです。分からない問題も答えを写すだけ。間違えても「なぜ間違えたのか」を考える余裕がなくなります。その結果、「提出できる状態」をゴールにしてしまい、本来の学習目標を見失ってしまうのです。

一方、少し余裕を持って取り組めば、状況は一変します。分からなかった問題を調べたり、解き直したり、先生や友達に質問したりする。そうした「できるようになるための行動」が自然と生まれます。同じ30分の勉強時間でも、「終わらせるための30分」と「できるようになるための30分」では、得られる学習効果はまったく異なります。

ですから、宿題の本当の目的は提出することではありません。それは「できることを増やすこと」です。勉強で差が生まれるのは、宿題の量の多さではなく、「終わらせるためにやるのか、できるようになるためにやるのか」。その意識の違いなのです。

早めに始める習慣をつけることは、単に「時間に余裕を持つ」ということ以上の価値があります。それは、学習の本質に向き合う姿勢を身につけることなのです。ただ、やっぱり手を付けられない、、、という方はEv 特がホームワーク特訓講座でサポートします！

「スマホで受験に失敗する子どもたち」

—高橋暁子（星海社新書）

「スマホ依存が止められず、勉強に集中できなかった。 結局、志望大学には落ちてしまった」

本書は、ある大学生のこんな痛切な後悔の言葉から幕を開けます。中高生の皆さん、「勉強しなきゃいけないのに、つい SNS や動画を見てしまう」と自己嫌悪に陥っていませんか？ そして保護者の皆さん、「スマホばかり見て勉強しない」と日タイライラしていませんか？

そんなスマホと勉強の両立に悩むすべての親子に全力でおすすめしたいのが、IT ジャーナリストであり成蹊大学客員教授でもある高橋暁子氏による『スマホで受験に失敗する子どもたち』です。

■ スマホ依存は「意志の弱さ」のせいじゃない

本書がまず教えてくれるのは、「スマホにハマるのは意志が弱いからではなく、サービスがそうなるように設計されているから」という事実です。SNS の「いいね」やゲームの期間限定イベントなどは、心理学を駆使して私たちの「時間」と「注意力」を奪うビジネスとして作られています。

さらに、OECD の調査などのデータをもとに、「スマホの利用時間が長いほどテストの正答率が下がる」「スマホが机の上にあるだけで集中力が低下する」という現実も突きつけられます。敵の正体とその恐ろしさを、客観的なエビデンスで理解できるのが本書の大きな特徴です。

■ 親が「無理やり取り上げる」のは逆効果！

では、親がスマホを取り上げれば解決するのでしょうか？ 著者はこれを明確に否定します。なぜなら、制限が効果を発揮する唯一絶対の条件は「子ども自身が『成績を上げたいからスマホを制限したい』と思うこと」だからです。

親が一方向的に禁止しても、子どもは反発し、抜け道を探すだけです。幸福度やモチベーションは「自己決定」によって高まるため、子ども自身に選択させることが何より重要だと説いています。

■ レベル別の具体的な制限策と「スマ勉」のすすめ

本書の最も実践的な部分は、志望校に合格した先輩たちが実際に行っていた「レベル別4つの制限方法」です。

【レベル0】スクリーンタイムなどの機能を使う

【レベル1】SNS のステータスに「受験生につき低浮上」と宣言する

【レベル2】勉強中は別の部屋に置く、ロックボックスに入れる

【レベル3】Wi-Fi の切断や、思い切ってスマホを解約する

自分に合った方法を、子ども自身が選び取れるように豊富な選択肢が提示されています。

さらに、スマホはただの「敵」ではありません。「Studyplus」などの学習管理アプリで勉強仲間と励まし合ったり、オンライン自習室や YouTube の「Study with me」動画を活用したりと、賢く使えば受験の「最強の味方」になる活用法も詳しく紹介されています。

■ 親子で「仕組み」を作ろう

スマホとの付き合い方は、受験が終わったあとの大学生活や社会人になっても一生続く課題です。

保護者の皆さんも、まずは本書を読むことがご自身のスマホ利用を見直す良い機会になるはずです（親のスマホ利用時間は子どもに大きく影響するそうです！）。

本書は、親子で一緒に読み、「我が家のルール」や「集中できる仕組み」を話し合うための最高のテキストです。受験勉強に本気で向き合いたい中高生と、それを全力で応援したい保護者の方に、ぜひ手に取っていただきたい一冊です。

（斎藤）



Evening 特別講座 8・9月スケジュール

【カレンダー表記】

★Ev 特の 2 学期は 9 月 2 日(水)からです。

休講:営業しておりますが、振替授業・補習のみ実施いたします。

プライベート:営業しておりますが、プライベート講座および振替授業・補習のみ実施いたします。

※ 通常のクラス講座は月間 3 回(9～12 月は合計 12 回)実施します。プライベート講座は休・祝日を除き実施いたします。

下記に関わらず振替・補習等を実施することがあります。各講座担当者までご確認ください。

※ 状況に応じて日程が変更となる恐れがあります。最新の情報を優先してください。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
26	27	28	29	30	31	8/1
	Ev 特夏期講習Ⅲ期					
休校						休講
2	3	4	5	6	7	8
	Ev 特夏期講習Ⅳ期					
休校						休講
9	10	11【山の日】	12	13	14	15
	学校閉鎖期間					
休校						休講
16	17	18	19	20	21	22
学校閉鎖	Ev 特夏期講習Ⅴ期					学校休校
		イングリッシュキャンプ				
休校						休講
23	24	25	26	27	28	29
	Ev 特夏期講習Ⅵ期					
休校					学校休校 全授業愛恵	休講
30	31	9/1	2	3	4	5
休校	休講	始業式 休講	Ev 特 2 学期開始 ①	①	①	①
6	7	8	9	10	11	12
	①	①	②	②	②	学校休校 ★②
13	14	15	16	17	18	19
	②	②	③	③	③	③

夏期 講習

開講期間

I 期：7 月 15 日（水）～7 月 18 日（土）

II 期：7 月 21 日（火）～7 月 25 日（土）

III 期：7 月 27 日（月）～7 月 31 日（金）

IV 期：8 月 3 日（月）～8 月 7 日（金）

V 期：8 月 17 日（月）～8 月 21 日（金）

VI 期：8 月 24 日（月）～8 月 28 日（金）

学び
直し

ホームワーク
特訓

英検
対策

1 学期
復習

2 学期
予習

夏休みの学習は戦略が重要

- ・定期試験がうまくいかない → 学び直し講座や1学期復習講座で基礎力をつけ、2学期の学習に備えましょう。
1学期の学習内容をわからないままにすると、2学期どんどん差をつけられます。
- ・普段は英検まで手がまわらない → 長期休み中に集中して、学習しましょう。Ev 特の英検対策は、技能別になっています。苦手を得意に変える夏に！
- ・受験を見据えた高校2年生 → 今から準備をするようにしましょう。模擬試験は解けていますか？もし、得点に結びついていないのであれば、それは実践力不足。これまで習得してきた武器をどのように使えばよいのか。問題との向き合い方を教えます。

帰省先でも！
(オンライン可)

～イヴ特の夏期プライベート講座～

Evening 特別講座では、夏期講習にもプライベート講座を行っております。ご希望日時は先着順となりますので、お早目にお申込みください。※3 コマから申し込み可

- ・対象：中1～中3
- ・科目：全科目（日程により、ご希望に添えないことがあります）
- ・料金：中学 1 コマ 60 分 7,260 円（税込）/オンライン 1 コマ 60 分 6,600 円（税込み）
高校 1 コマ 60 分 8,800 円（税込）

※期をまたいでの受講も可能 ※プライベートはセット料金対象外です。

※オンライン授業をご希望の方は、申込用紙備考欄に書き込んでいただくか、またはメール・LINE にてご連絡ください。

全講座の案内・詳細

中学生



高校生



お申込書



お申込み・お問い合わせ はこちらまで

聖学院公認放課後講座 Evening 特別講座教務運営事務局

住所：東京都北区中里 2-6-1 愛恵ビル 10B

営業時間：13：00-20：00

TEL/FAX：03-5980-7847

WEB：http://www.especialseminar.com/

e-mail：evening.special.seminar@gmail.com

※右の QR コードよりぜひ LINE にご登録ください。

